

新しい価値の創造によってうまれた グリーン・クリーン・ファイン製品で、社会に貢献しています。

インダストリアルテープ(基盤機能材料)

自動車業界向けの粘着テープおよび高機能部材製品は、日中問題の影響を受けましたが、北南米や南アジア市場が好調に推移したため、全体では堅調に推移しました。

エレクトロニクス業界向けは、両面粘着テープやシーリング材料が、スマートフォンやタブレットPCの市場拡大に加え、採用される製品数も増加したことにより、期前半は好調に推移しました。しかし、期後半は、想定以上の顧客による生産調整の影響を受けました。

電子部品やハード・ディスク・ドライブ向け粘着テープは、パソコンやデジタル家電などの市場が冷え込んだため、低調な推移となりました。

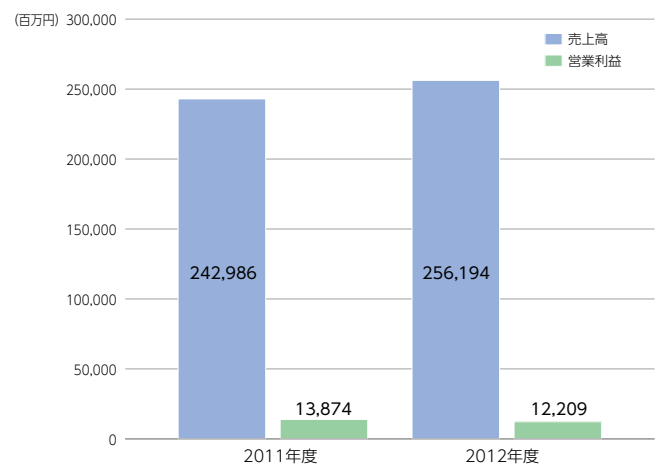
工業用途全般に使用される汎用性の高い両面粘着テープ、保護材料やフッ素樹脂製品は、伸びた市場もありましたが、全体的には力強い回復には至りませんでした。

衛生材料向けとしては、トルコで最大手のテープメーカー、ベント社を買収するなど、体質強化を図りました。

2013年度は、グローバル化をさらに進め、新興国を中心に、現地で開発から材料調達・生産・販売まで一貫対応することで、エリアニッチトップ製品を創出していきます。

	2011年度	2012年度	前年同期比
売上高	242,986	256,194	105.4%
営業利益	13,874	12,209	88.0%

単位:百万円



ブラジルに自動車用高機能部材の新工場を建設

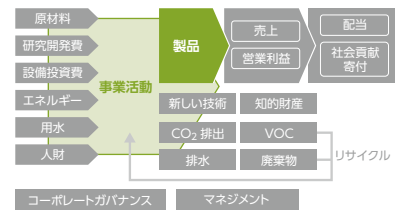
急速な経済発展を遂げているブラジルの中で、自動車業界は堅調に拡大しており、大手自動車部品メーカーも新規進出・現地生産拡大を加速させています。そこでのシェア拡大を図るため、日東電工ラテンアメリカ(ブラジル・サンパウロ州)は、新工場を建設しています。2013年2月に着工し、2013年12月には竣工、立ち上げ

時の従業員は55名の予定です。同社の現在の事務所も、新工場に移転する予定です。

自動車の燃費向上や車内の静寂性向上に寄与する各種高機能部材や加工品を生産し、南米での事業拡大をめざしています。



住所: Rua Charles Goodyear, 460 - Bairro Cururuquara - Santana do Parnaíba - SP - CEP 06524-105



パーソナル文具市場に新規参入

2012年10月、ニトムズは、日東電工グループとして初めてとなる文房具ブランド「STÁLOGY®(スタロジー)」を発売しました。「STÁLOGY®」とは、stationery, standard & technologyの造語で、「ありそうでなかった」良質なステーショナリーブランドとして提供。デザインも機能も良い、手頃な価格の文房具を世の中に発信していきます。

日東電工のコア技術である粘着技術をはじめとするニトムズのテクノロジーに、good design companyのトータルディレクションのコラボで生まれた、個性的でスタイリッシュな文房具は、現在、両面テープ、超透明テープ、マスキング丸シール、付箋、消しゴムなど16種類。文房具店や生活雑貨専門店の文具売り場でお買い求めいただけます。



STÁLOGY®ラインナップ

窓用省エネフィルム「PENJEREX®(ペンジェレックス)」を新発売



窓ガラスにペンジェレックスを貼るだけで省エネ効果

遮熱性と業界最高レベルの断熱性をあわせ持ち、年間で省エネ効果を発揮する窓用フィルムを2013年1月に発売しました。

夏場は日射熱を約50%カットし、暑さ・冷房負荷を低減、冬場は室内からの熱流出を約35%少なくし、寒さ・暖房負荷を低減します。フィルムを貼るだけで手軽に省エネ改修が可能で、さらにUVカット・飛散防止機能もあります。

透明でかつ高い遮熱性・断熱性が話題を呼び、発売以来、多くの引き合いをいただきました。すでに国内の官公庁、オフィスビル、工場や病院などの窓ガラスに使っていただいています。

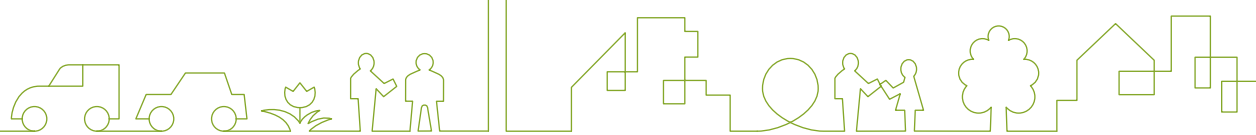
上海にイノベーションセンターをオープン

成長著しい中国市場のお客様に、日東電工グループと技術や製品を知っていただくため、日東電工(上海松江)に「日東電工(上海)创新中心(イノベーションセンター)」を2013年7月にオープンしました。

実際に製品や技術に触れて体感していただき、新しいビジネスをお客様と共に創出していく場として、様々な仕掛けや展示を工夫し、お客様をお迎えます。



新しく上海にオープンしたイノベーションセンター



オプトロニクス

液晶表示関連製品などの情報機能材料は、テレビ向けの需要が安定していたことに加え、スマートフォンやタブレットPC向けの市場が持続的に拡大したことから、好調に推移しました。スマートフォンやタブレットPCに搭載されているタッチパネルには、透明導電性フィルムを供給していますが、こちらも、市場拡大に加え、品質や技術力の差別化戦略により、順調に推移しました。

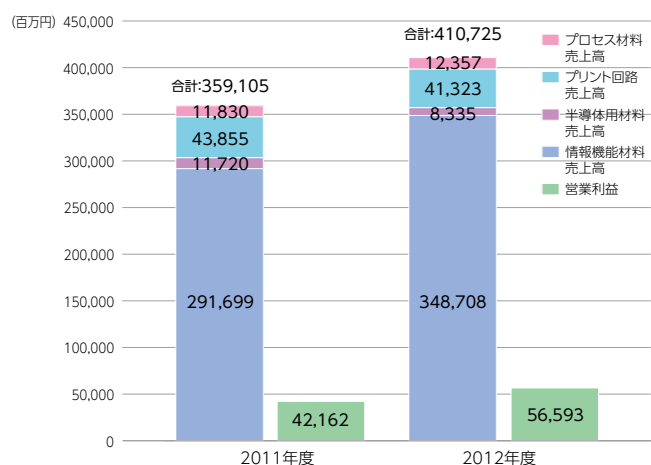
半導体用材料は、2012年10月1日から光半導体向け封止材事業を除いた半導体用封止材事業を日立化成株式会社に譲渡したことで、売上が減少しました。

プリント回路は、タイ国洪水からの需要回復が期初に見られましたが、その後パソコン需要の低迷継続によりハードディスク・ドライブ市場の回復が遅れており、その影響を受けました。

プロセス材料は、半導体業界の設備投資抑制の継続により、テープ貼り合わせ装置の需要が低調に推移しましたが、スマートフォンやタブレットPCに使用される半導体の製造工程用テープが年間を通じて好調であったため、全体では堅調に推移しました。

		2011年度	2012年度	前年同期比
売上高	情報機能材料	291,699	348,708	119.5%
	半導体用材料	11,720	8,335	71.1%
	プリント回路	43,855	41,323	94.2%
	プロセス材料	11,830	12,357	104.5%
	計	359,105	410,725	114.4%
営業利益	計	42,162	56,593	134.2%

単位:百万円



LED用「熱硬化性耐熱封止シート」を新規開発・発売

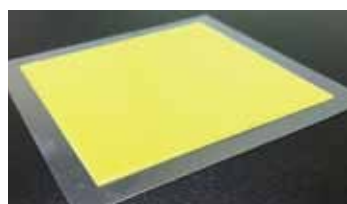
省エネに貢献する製品として注目されているLED照明は、近年加速度的に普及しています。

LED素子は青色に発光するため、蛍光体(黄、赤、緑)を液状樹脂に混ぜ、LED素子を封止し、白色にしていますが、その際に、色度のバラツキの問題がありました。

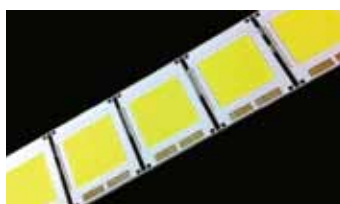
そこで、日東電工では、蛍光体を含有した熱硬化性耐熱封止シートを新規開発しました。これは、LEDに貼るときはゲル状のため、

ワイヤーにダメージを与えずに貼り合わせができ、工程の簡素化ができます。さらに、シート化することによって、均一の厚みを実現し、蛍光体の配置を制御することで色バラツキをおさえることができます。これらにより、LEDの高品質・高信頼性・高生産性を実現させました。

2013年1月から発売を開始しました。



新しく開発された熱硬化性耐熱封止シート



シートをLEDに貼り、熱硬化させた状態。均一の厚みでLEDを保護している。



シートを貼ったLEDを点灯



メディカル&メンブレン

メディカル(医療関連材料)は、医療衛生材料が堅調に推移しましたが、医薬品である経皮吸収型テープ製剤が薬価改定と顧客による震災後の在庫積み増しの反動を受けました。加えて、米国における核酸医薬グループ会社が、受注案件延期などの影響を受け厳しい展開となりました。

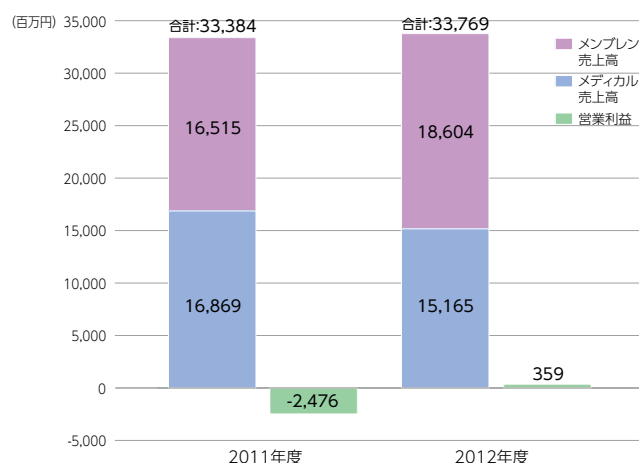
一方、世界初の統合失調症治療用テープ製剤の開発が進んでいます。また、経皮吸収型テープ製剤の一つである貼付用局所麻酔剤「ペンレス™」が、新たに伝染性軟属腫(水いぼ)摘除時の疼痛緩和に対するの効能・効果を取得し、積極的な営業活動が可能になりました。

2013年度は、引き続き、経皮吸収型テープ製剤、核酸医薬、分子標的DDSを世界要所で展開していきます。秋には、高血圧治療用の経皮吸収型テープ製剤も発売予定です。

メンブレン(高分子分離膜)は、新興国向け一般工業用途に注力分野を変更したことや、過去に受注した海外向け海水淡水化案件の出荷により、年間を通じて堅調に推移しました。

		2011年度	2012年度	前年同期比
売上高	メディカル	16,869	15,165	89.9%
	メンブレン	16,515	18,604	112.6%
	計	33,384	33,769	101.2%
営業利益	計	-2,476	359	-

単位:百万円



米国アルティア社の資産を買収

日東電工は、米国・アルティア社が保有する、アクティブTTS(Active Transdermal Therapeutic System)技術に関する知的財産および固定資産を獲得し、2012年4月からサンディエゴの研究所で本格的に活動を開始しました。今回獲得した技術は、熱線によって皮膚表面に無痛かつ安全に開けた微細な孔に、薬剤の入ったテープを貼って体内に薬剤を取り入れる、新規の経皮吸収技術です。

日東電工は、これまで皮膚から薬剤を吸収して患部に届ける経皮吸収型テープ製剤を開発・製造してきましたが、この技術獲得により、これまでの技術では困難だったペプチドや遺伝子医薬などの高分子医薬や親水性薬剤の経皮吸収型テープ製剤化が可能になり、患者様や医療関係者の方々のより広範なニーズに応えることを目指しています。



アプリケーターにより、皮膚に微細な孔を開け、直後、その上にパッチを貼付したところ



日東電工アビシア(シンシナティ)(旧ギリングス・アメリカ社)の建屋

米国ギリングス・アメリカ社の資産を買収

日東電工および日東電工アビシアでは、今後成長が期待される核酸医薬の研究開発および製造を行ってきましたが、2013年1月、核酸医薬原体の受託製造を行っているギリングス・アメリカ社(米国オハイオ州)の資産を買収しました。これにより、核酸医薬原体の製造、および有機合成の事業拡大が可能になりました。

今後さらに、核酸医薬ビジネスのグローバル展開を図って行きます。